

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) No306

(最終案内12/15開催) 小中学校の義務教育関係者にもっと参加してほしいです  
電通育英会主催「リーダー育英塾カンファレンス2024」のご案内  
「デジタルトランスフォーメーションの社会を見据えて  
学校・大学は今何をしなければならないか！」

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長  
桐蔭横浜大学 教授

<http://smizok.net/>  
E-mail [mizokami@toin.ac.jp](mailto:mizokami@toin.ac.jp)

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。

\*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。  
公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています

# プログラム

10:00~10:10	電通育英会 遠谷信幸理事長挨拶 「電通育英会について」有井和久専務理事
10:10~10:20	本日の趣旨説明（溝上慎一先生）」
10:20~11:00	【基調講演1】 「AI時代に向けた教育改革：未来を創る学びとAIリテラシー」 美馬 のゆり先生（公立はこだて未来大学 公立はこだて未来大学 教授）
11:00~11:40	【基調講演2】 「GIGAスクール構想第2期と次期教育課程の論点（仮）」 武藤 久慶氏（文部科学省 初等中等教育局 教育課程課長）
11:40~11:50	休憩
11:50~12:20	講師を交えてのディスカッション（溝上慎一先生／中原淳先生） *質問は随時チャットで拾いながら
12:20~12:30	ラップアップ（溝上慎一先生／中原淳先生） 終了／アンケート

## 「リーダー育英塾カンファレンス2024」の概要 情報発信・助成事業

### リーダー育英塾カンファレンス2024

11月中旬募集開始

電通育英会では「高大社連携に向けたトランジション教育改革」を高等学校・大学で推進していく「次世代リーダー」の育成を目的に、2018年より少人数の参加者によるワークショップ形式の「リーダー育英塾」を6期に亘って実施しています。

その成果報告並びに教育関係者を中心とした人材育成関係者との情報共有の場として、今後のトランジションによる教育改革を担う人材育成の一助とすべく「リーダー育英塾カンファレンス2024」をオンラインにて開催いたします。

▼過去の「リーダー育英塾カンファレンス」の様子はこちらからご覧いただけます。(別ウィンドウが開きます。)

[リーダー育英塾カンファレンス2021](#) [リーダー育英塾カンファレンス2022](#) [リーダー育英塾カンファレンス2023](#)



左：溝上 慎一（学校法人桐蔭学園 理事長）

右：中原 淳（立教大学 教授）

（監修）with  
中原 淳（立教大学経営学部 教授）

### <カンファレンステーマ>

AIが「答え」をすぐに教えてくれて  
まわりが「デジタル」だらけになる時代に

「デジタルトランスフォーメーションの社会を見据えて  
学校・大学は今何をしなければならないか！」

・ 日時：2024年12月15日(日)  
10:00-12:30（オンライン）

・ 参加定員：200名程度

・ 募集対象者と人数

小学校・中学校・高等学校・大学等の教職員および教育関係者（学校教育に関心をお持ちの企業人事・経営企画担当者のご応募も歓迎いたします）

・ 募集時期

~~2024年11月中旬にて募集開始予定~~

- ・ 電通育英会ウェブサイト
- ・ 溝上慎一HP ほか

## 『今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会 論点整理』（令和6年9月18日）

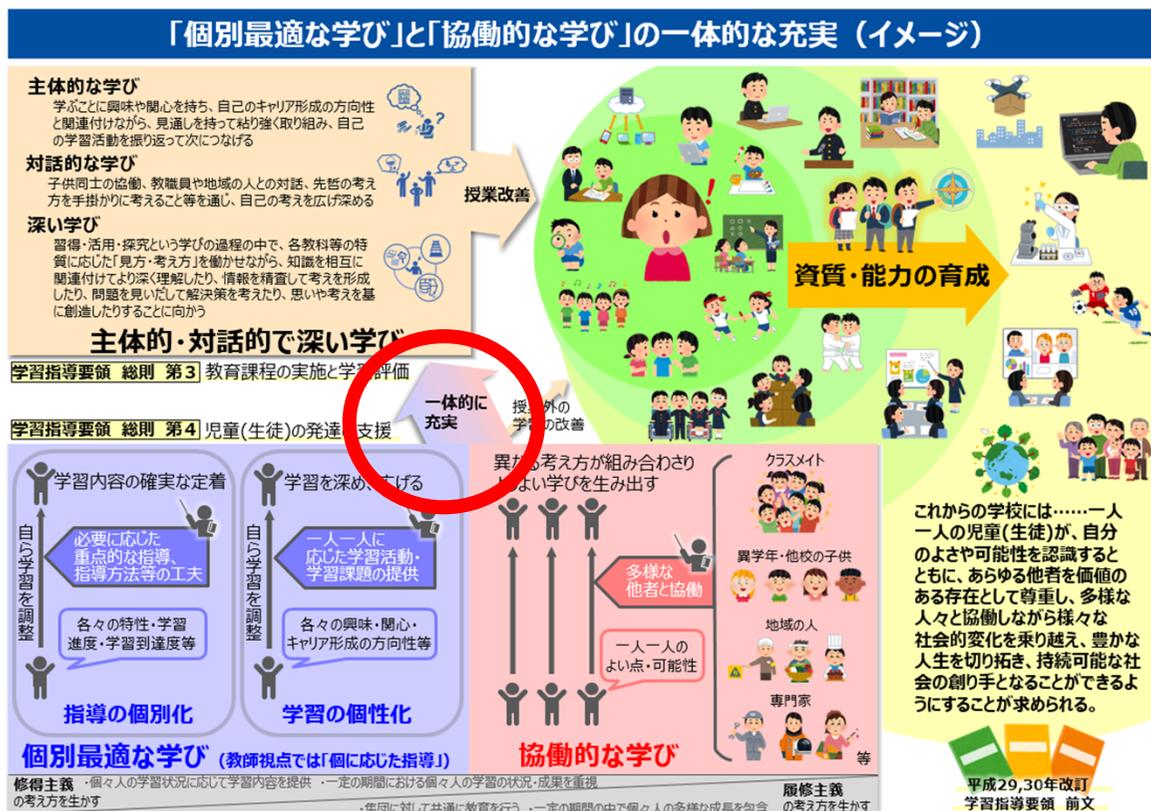
### （2）学習の基盤となる資質・能力

- 言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力といった「学習の基盤となる資質・能力」については重複する部分も多く、現場の具体的な実践に繋がっていない場合もある。
- この「学習の基盤となる資質・能力」については、各教科等における学びを進めていく上で共通的に必要となる重要な資質・能力であるという点を改めて明確にしつつ、これらの3つで求められる資質・能力が十分に表現されているかどうか、デジタル学習基盤との関係も含め、関係性の整理と具体化を図ることが必要。

### （3）学校におけるデジタル学習基盤の整備を踏まえた学びの在り方

- GIGA スクール構想の下、クラウド環境やアクセシビリティ機能を含むデジタル学習基盤を効果的に活用している学校では、多様な子供たちを包摂する実践が進むとともに、多様な教材の活用や思考過程の可視化などにより、個別最適な学びと協働的な学びが促進され、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善が進んでいる例も見られている。一方で、従前からの指導においても同様であるが、育成すべき資質・能力を十分に意識しない実践が行われることにより、ICT等のツールが先に述べたような役割を果たすことなく、「深い学び」に繋がっていない例も見られることに留意する必要。

『令和の日本型学校教育答申』では以下のように説かれていた。  
 「「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげていくことが必要である」(p.19)



※本資料は、「教育課程部会における審議のまとめ」（令和3年1月25日中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会）に基づき、概念を簡略化し、図等として整理したものである。

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/senseioun/mext\\_01542.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/senseioun/mext_01542.html)

**No299**

**2024年12月15日(日)**

**オンライン開催 11月半ばから参加申込**

電通育英会主催「リーダー育英塾カンファレンス2024」のご案内

# デジタルトランスフォーメーションの 社会を見据えて

## 学校・大学は今何をしなければならないか！

[基調講演1] **美馬のゆり**(公立はこだて未来大学教授)

「AI時代に向けた教育改革ー未来を創る学びとAIリテラシー」

[基調講演2] **武藤久慶**(文部科学省 初等中等教育局教育課程課長)

「GIGAスクール構想第2期と次期教育課程の論点」

溝上慎一の教育論「動画チャンネル」

ご視聴有難うございました  
チャンネル登録もお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。

E-mail [mizokami@toin.ac.jp](mailto:mizokami@toin.ac.jp)

- お名前、ご所属

※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてください、回答の助けになります。  
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。

- 質問、コメント等

